

# Ⅰ 胃部レントゲン検査

～初めて胃部バリウム検査を受診される方へ～

バリウム検査と聞くと、検査を受けたことがある方々からは良い話を聞かないと思います。

検査前日から絶飲絶食、検査直前に発泡剤というものを飲まされて、胃が膨らんでゲップしたいのにしちやだめという無理難題・・・。

とても飲み物とは思えない粘度の高い白い液体・・・  
甘い匂いはしているが、不味いという不思議な味・・・  
のどごしなんて言葉は皆無で、あまり気持ちのいいものではありません。

そこで、初めて検査を受けられる方やすでに検査を受けている方のために少しでも楽に検査を受けていただくために解説をさせていただきます。

検査当日、皆様に少しでもお役に立てれば幸いです。

## バリウム検査の流れ



## 前日準備

バリウム検査に向けて、前日 21 時から絶食で検査に挑む必要があります。

水分は、お茶・水・白湯なら前日の制限はありません。

検査当日は、開始 3 時間前までなら 100 cc 程度の水なら OK です。

前日		検診当日	
食事	 22時以降は 	食事	  絶食
水分	 22時以降は水・白湯に限り可 	水分	  検診2時間前までは200mlまでの飲水可(水・白湯に限る)
お酒	 	薬	  糖尿病の薬  高血圧の薬 心臓病の薬 (検査2時間前までに服用) <small>※これら以外の薬の服用は、主治医にご相談ください。</small>
		タバコ	 
		ガム	 
		飴	 

## 当日、タバコを吸われる方は禁煙厳守！

なぜ、前夜からの絶食・当日、タバコを吸ってはいけないのでしょうか？

## 前夜からの絶食理由

この検査は、胃にバリウムを付着させて粘膜の凹凸（病変）の有無を調べる検査です。

胃の中には、普段の生活では少なからず食べ物のカスが残っていますので、それを無くするために前日から絶食していただきます。

食べ物のカスが無くなることにより、胃の粘膜にバリウムが良く付着し凹凸がわかりやすくなるとともに、病変も見つけやすくなります。



## 当日喫煙してはいけない理由

タバコを吸うと胃が刺激されて胃液の分泌が始まります。  
刺激された状態で胃にバリウムが入ってくると、胃はバリウムを食べ物と勘違いしてしま  
い動き始めてしまいます。

すると飲んだバリウムを胃の先にある腸へ押し出そうとしてしまうため、その結果、胃にバ  
リウムが無くなってしまいます。

また、喫煙により胃液の分泌が多くなってしまうため、その結果バリウムが胃の粘膜にしっ  
かりと付着しなくなります。

そうすると、病変の見落としが起きてしまいます。

**当日の禁煙にご協力をお願いいたします！**

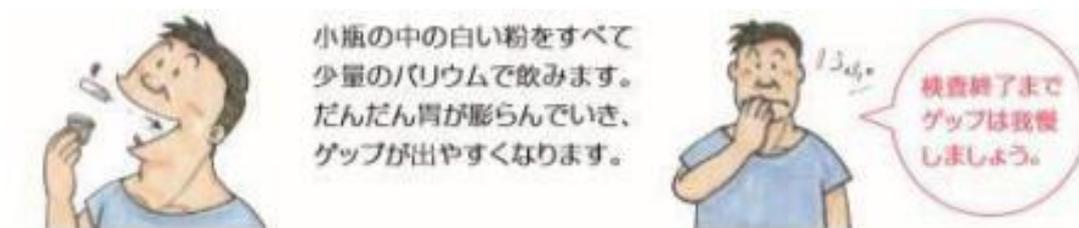


## 検査開始

### STEP 1

#### 発泡剤を飲む

胃を膨らませるために、「発泡剤」というものを飲みます。  
発泡剤 6g を薄めたバリウム 10 cc で飲んでいただきます。  
この発泡剤により胃が膨らみ胃の中のヒダが伸展して、病変を発見しやすくなります。



#### 飲み方のコツは

舌先に発泡剤を触れさせるのではなく、舌の奥に全ての発泡剤を置き  
一気に飲んだ方が良いです。

舌先で味わってしまうと発泡剤がブクブクと口の中で気体となってしまう、上手に飲み込めず吐いてしまいますので注意してください。

発泡剤を飲んで検査開始から終了までひたすらゲップを我慢するのですが、ゲップが出そうになったらどうすれば良いのでしょうか？

ゲップが出そうになったら、軽く顎を引いて下を向き、唾や空気を飲み込むと、比較的我慢できます。

## STEP 2

### 発泡剤を乗り越えた次はバリウムです。

発泡剤の次はバリウムを飲みます。量は 150 cc です。

とても飲み物とは思えない粘度の高い重い白い液体・・・。

バリウムは胃の内壁全体に付着させることにより、胃の内壁（凹凸）を写し出すことを目的としているため、ドロドロしておりそのせいで飲みにくいです。

飲みやすい対策などはありません。

しいて言うなら、舌先で味わってはいけません

喉が渴いた時に水を飲むように、ゴクゴクと飲んだ方が良いです。

味が悪いだけではなくて、粘度も高いのでこれは、ちびちび飲んだら厳しいです。

- ・飲んでる時間が減る。
- ・味はほとんどわからない
- ・飲み込む回数が減る

と画期的な効果が。



こぼさないように気をつけて全量お飲みください。



## STEP 3

### 検査台の上で指示通り動く

バリウムを飲み干したら、次に撮影になっていきます。

立っていたと思ったら台が倒れていき、放射線技師から指示が飛んできます。

「右に3回まわって」「仰向けに」「うつ伏せに」「右向いて」「ちょっと体を斜めに」など。

検査中の動きは、おおよそ決まっています。簡単に説明すると。

### バリウムを飲んだら



検査台が立った状態から水平になっていきます

さあここから、いろんな指示がとんできます。まずは、右回りで3回転

うつぶせになって

反対側からもとにもどる

この回転をあと2回繰り返します

Q.なぜ3回転するのでしょうか？

A.回転することによって胃の粘膜に付いている粘液は剥がし取ると同時にバリウムを粘膜に付着させるためです

3回転のあと、いろいろな方向で撮影していきます。

### 技師の指示に従って動いて下さい



左向き真横  
「左に向いて真横になってください。」

左向き斜め  
「左に向いて斜めになってください。」

逆さ吊り  
「頭が逆さまになりますので横の手すりをしっかり握ってください。」



うつ伏せでおなかに枕をはさんで逆さ吊り

この撮影が一番キツイです!

まずうつ伏せでおなかの下に枕を入れます。入れた時点でおなかが圧迫されるのでゲップがでそうになります。枕を入れておいてゲップしちゃダメという無理難題・・・

しかもその状態で逆さまに・・・ここは踏張りどころです。

あとは、「うつ伏せで右腰上げて」「左腰上げて」「おじぎして」などいろいろ指示が飛んできます。

緊張しているせいもありますが、途中で左右がどちらかわからなくなってしまい、間違えたりして「逆です逆」と言われてしまったり

いやな思いをすることがあったりすることも・・・。

そうならないように

真正面と検査台に左右の標識を表示しています。

途中でわからなくなったら、近くの標識をみて動いて下さい。



うつぶせの状態ではわからなくなったらこれを見て！

あおむけの状態ではわからなくなったらこれを見て！



最後に圧迫筒という筒状のものでお腹を押さえます。



押さえている最中は、ゲップを出しても構いません。  
むしろ、ゲップを出していただくようにうながされますので、技師の指示に従いお腹の力を抜いて楽にしてください。

## 検査終了

お疲れさまでした。

以上で検査は終了となります。

検査は終了ですが、バリウムを体外まで出し切るのが検査終了までの一連の流れです。



検査が終了しましたら、渡された下剤を飲んでください。

下剤は2回分、便秘がちな方には4回分お渡しします。

下剤を飲む理由は検査で飲んだバリウムなるべく早く体外に出すためと便秘防止のためです。

**検査が終了したら、一回2錠をすぐに飲んでください**

**下剤を飲んだら出来るだけたくさんの水を飲んでください**

**水をたくさん飲むことは、この下剤の効果を最大限に発揮するためです。**

下剤の効果は個人差がありますが、下剤を飲んでからおおよそ4~5時間でバリウムが排泄されます。もし夕方までに排泄されない場合は、夕食後に2回目を飲んでください。

何が言いたいかというと、バリウムは異物なので、何が何でも体外に排出しなければならないということです。このバリウム、上手く排泄できないと水分だけが腸で吸収されお腹の中で固まってしまいます。

そうならないため、下剤を飲み、多量の水分を摂取するということを心掛けてください。

## 排泄しきれるのは翌日

排泄しきれるのは、早くても検査翌日です。

出し切った目安としては、色が白からいつもの茶色に変わった時で、それまではまだ体内に残った状態です。

## バリウムを早く出すために守っていただきたいこと

下剤は用量用法を守って必ず飲みましょう

便が出るまでは水・お茶などの水分を多めに摂りましょう

食事は通常通り摂っていただいて、可能であれば野菜などの繊維質の多いものを食べましょう。

アルコールは脱水症状を引き起こすので、便が出るまでは控えてください。

Q. なぜアルコールを控えるのですか？

A. アルコールは腸内の水分を奪ってしまいます。水分をとられることによってバリウムが固まりやすくなります。毎日晚酌される方は便が出るまでは我慢してくださいね。



お酒禁止



以上を守って早く便を出しましょう